


# 〇〇生涯現役地域づくり協議会（〇〇県▲▲市）

事業 タイトル	●●●●				
人口 (※1)	000,000人	高齢者数 (※1,2)	000,000人	高齢者率 (※3)	00.0%

(※1) 令和2年国勢調査より (※2) 65歳以上の者 (※3) 高齢者数/人口により算出

厚労省側において、  
地域地図を添付します

地域の現状及び課題	事業の目的
●●●●	●●●●



協議会

【構成員】  
① ●●●●

【事務局】  
●●●●


**環境整備事業の実施**

【重点業種】  
●●●●

【事業内容】  
① ●●●●

【民間からの資金調達方法】  
●●●●

高年齢者の雇用・就業者数目標：〇〇人（3年度計）



協議会

【自走後のビジョン】  
●●●●

## ▲▲生涯現役地域づくり協議会（○○県▲▲市）

事業 タイトル	～実現しよう！▲▲市生涯現役社会創設！～				
人口 （※1）	100,000人	高齢者数 （※1,2）	28,000人	高齢者率 （※3）	28.0%

（※1）令和2年国勢調査より （※2）65歳以上の者 （※3）高齢者数／人口により算出

厚労省側において、  
地域地図を添付します

地域の現状及び課題	事業の目的
<p>○○県▲▲市は、●●県□□市のベッドタウンとして古くから発展している市である。平成27年をピークと市人口が減少傾向にあるとともに、市民の高齢化が進んでおり、老年人口が年少人口を上回っている。</p> <p>市の南部を中心として製造業が盛んであり、▲▲工業団地には多くの大企業の工場が立地しているものの、中小企業は人手不足傾向が顕著であり、今後も加加速度的に人手不足が続くと予測され、2040年には地域内の中小企業のうち、30%が後継者不足等により廃業を余儀なくされると推計される。</p> <p>また、全国的な傾向と同様、福祉分野、特に介護関係については、慢性的な人手不足状態が続いている。背景には、企業側のニーズが高い一方で、求職者側のニーズが合致していないこと等が挙げられる。</p>	<p>これまで過疎地域対策として他の地域からの移住者に対する雇用支援等を実施していた実績はあるものの、高齢者の活躍の場を創出するための取組が手薄となっており、結果として左記に記載したような現状及び課題が見受けられるところである。環境整備事業を実施することにより、課題解決に向けた基盤を整備することはもちろんのこと、高齢者の暮らしを豊かにし、市民が生涯生き生きと暮らせる町づくりを目指していく。</p> <p>なお、環境整備事業における主たる支援対象は高齢者であるところ、▲▲市の潜在的労働力の活用を図り、人手不足解消を目指すべく、子育て中の女性も射程とし、隙間時間を利用して簡単な就業を行いたいといった希望を現実化させていく。</p>



協議会

## 【構成員】

- ① ▲▲市
- ② ▲▲商工会
- ③ ▲▲シルバー人材センター
- ④ ▲▲社会福祉協議会
- ⑤ ××銀行▲▲支店
- ⑥ 農業協同組合▲▲支所
- ⑦ ▲▲市産業振興協議会
- ⑧ ▲▲大学 等

## 【事務局】

事務局長、会計責任者1名、  
統括員1名、推進者1名、支援員1名

## 環境整備事業の実施

## 【重点業種】

医療・介護・福祉業種、製造業種

## 【事業内容】

- ① 高齢者及び地域企業へのニーズ・シーズ調査
- ② 大手企業高齢職員等を中心としたセカンドキャリア支援のためのニーズ調査
- ③ 地域魅力発信事業
- ④ 企業向け／求職者向け生涯現役支援セミナー
- ⑤ 合同説明会・職場見学会
- ⑥ 個別相談

## 【民間からの資金調達方法】

市からの出向職員、寄附金、再委託事業の実施 等

高齢者の雇用・就業者数目標：100人（3年度計）



協議会

## 【自走後のビジョン】

事業終了後、3年間▲▲市からの助成を受けつつ、独立を目指す。事業終了後も支援員等は継続して雇用し、そのことを見据えた上で、事業実施期間中にノウハウを蓄積していく。